

個別製作時の車いすの処方時や製作時に役立つ強度の知識

日時：平成24年1月14日（土曜日） 13時～16時

場所：国立障害者リハビリテーションセンター本館4階大会議室

主催：厚生労働科学研究 代表者 廣瀬秀行（国立障害者リハセンター研究所）

本講習会は平成21から23年度までの厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（身体・知的等分野））研究「座位保持装置の安全で適切な流通の促進に関する研究」により実施されている、その中の事業になります。

目的は個別対応（オーダーメイド）の座位保持装置を供給する処方、営業、製作に対して、安全で安心な機器を供給するために設計・製作時に必要なガイドラインを開発することです。そのため、機械的破損に着目し、それらを見つけ、原因を解析する手法をとってきました。その結果、処方者から製作者までの一貫した強度に関する知識や対応が必要なことがわかりました。

今回、それらについてお知らせすると同時に、個別対応車いすの技術の向上や安全性の構築に向けた議論を考えております。ぜひ、ご参加いただくようお願い申し上げます。

平成23年に開催したHCRワークショップのバージョンアップ版となり、新規結果や3年間の研究成果も入れております。

参加費：無料

講師:

岐阜大学教授(材料力学専門)
国立障害者リハセンター研究所
国立障害者リハセンター研究所

長谷川典彦
相川孝訓
廣瀬秀行

予定:

13時		廣瀬(司会・挨拶)
13時	－13時50分	長谷川(材料力学の基礎)
14時	－14時40分	相川 (厚生労働省座位保持装置 完成用部品基準)
14時45分	－15時25分	廣瀬 (破損のまとめ)
15時30分	－16時	(全体質問および個別製作時の 教育への提言作成)
16時		終了

申込:

下記までメールで、所属、職種、氏名をお知らせください。

国立障害者リハセンター研究所 受付:福田

fukuda-tomoyuki@rehab.go.jp

電話:04-2995-3100 内線7170

なお、当日も受け付けます。

(埼玉県所沢市並木4-1、西武
新宿線新所沢駅、航空公園駅下
車徒歩15分)

